

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま政治刷新中！

第38号
2017年1月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

- 【裏面もあります！】
- 小学生が県議会を見学
 - 知事に義援金を手渡し
 - 健康寿命延伸を推進中
 - 市民劇団公演が大成功

中学校で特別講師、財政を説明

大学生に政策立案の支援も

田辺一城の 発信箱

□新たな年の決意
2017年（平成29年）が始まりました。政治の原点は「現場主義」と「対話の実践」。

本年も多くの住民の皆さんから直接、生活現場の「声」を聞かせていただき、把握した課題を解決するための政策をつくっていきます。これまでも常に挑戦



地方自治の財政の仕組みなどについて分かりやすく講義＝福岡東中学校で

を意識した政治活動を展開してきましたが、本年はさらなる飛躍の年にするべく、活動の幅を広げていきますので、ご指導ご支援のほどよろしくお願いたします。

□主権者教育の推進

私たちの未来は、私たちが決める――。平和で安定した暮らしやすい社会は、健全な民主主義が機能してこそ実現します。昨年、18

歳選挙権が実現しましたが、大前提として、若年層の皆さんが「主権者」としての意識をしっかりとしたなければなりません。これを育むには、家庭における政治教育はもちろん、学校現場における取り組みを推進していくことも極めて重要です。

□中学生とともに学ぶ

私はこれまでも主権者教育の推進を議会で提起して

きており、学校現場での機会にも恵まれています。昨秋は福津市の福岡東中学校の社会科授業に特別講師としてお招きいただき、地方自治体の財政などについて福岡県の予算編成にも触れながら分かりやすく説明しました。中学生の発想から私たち大人が学ぶことも

多々あります。学校現場で障がい者の方々や留学生と交流できる機会を増やしたり、とてもうれしく思いました。

□政策づくりをサポート

また、春や夏に大学生のインターンシップを受け入れていきます。大学生が自身の政治活動に同行し、「私たちの暮らしと政治のつながり」を実感しながら政策を立案しています。昨夏に受け入れた九州大学の野上紗羽さん、古賀市は、県内の先進事例を調査したうえで「地域における子育ての促進」や「子どもの貧困対策」をテーマに政策を

つくり、福岡県の大学生の発表会で最優秀賞に輝きました。

□一人一人を大切に

民主主義は、多様性の尊厳が根幹になければなりません。子どもから大人まで、どのような立場にあろうとお互いを認め、理解し合うことが大切だと思います。そして、異なる意見にも耳を傾けること、思い込みやレッテル張りや独善的に判断をしないこと。私は民進党に所属していますが、様々な政党を支持している

方々、政党支持がない方々の「声」を分け隔てなく聞かせていただき、「調和」を図る政治を実践してきました。だからこそ、「共生社会」の実現を理念として掲げています。本年もぶれることなく、しっかりと政治活動を展開してまいります。

対話集会を開催

政治活動の報告や皆さんとの意見交換のための「対話集会」を各地の公民館・集会所で開催しています。11月に古賀市の古賀東区で開催した対話集会では、大学生による政策発表も行い、古賀市だけでなく、近隣の福津や宗像、福岡市内から様々な世代の皆さんにご参

加いただきました。田辺かずき事務所までご連絡いただければ、どの地域でも対話集会を開催します。サークル活動やお茶会などの場も大歓迎。ご連絡をお待ちしています。



田辺の政治活動を連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント → @tanabe_kazuki

小学生が県議会訪問、地方政治を学ぶ！

熊本地震の義援金を知事に託す

古賀市立青柳小学校6年生の代表4人が2016年12月5日、校長の内洋一先生や学校の担任の先生たちと一緒に、福岡県議会棟を訪問してくれました。私が本会議場に案内し、傍聴席で地方政治の仕組みなどについて、できるだけ分かりやすく説明しました。「議席はどういうルールで決まるんですか」「どうやって採決するんですか」などの質問もいただきました。

こうした機会をいただけるのは本当にありがたいことだと思います。主権者教育も現場が第一。見学したいという皆さんは、田辺かずき事務所にご連絡いただければしっかりと対応しますので、よろしくお願いたします。



福岡県議会の本会議場で、地方議会の役割などを小学生たちに説明＝2016年12月5日

青柳小の子どもたちは議会見学会に先立ち、県庁を訪問。16年10月17日、21日、「熊本地震の被災地の皆さんに」との思いを込め、100キロキャラバンの募金活動で集めた義援金24万1682円を小川洋知事に手渡しました。子どもたちはこの取り組みの意義と自分たちの思いをしっかりと説明してくれました。義援金は福岡県から熊本県共同募金会を通じて、熊本地震の被災地に届けられます。



みなさんとともに一 地元での活動

市民劇団ダイコンの 公演、大成功！

青少年健全育成と文化振興を図るため、県もスタートアップを支援してきた活動が、今年も花を咲かせました。古賀市市民劇団DAIKOON（ダイコン）の8回目の公演「我が故郷こが 花の如し」。地元の小中高校生から人生の大先輩の方まで様々な世代が力を合わせ、地元の歴史や風土を題材にした作品をつくり上げました。私は4年連続の友情出演。高校時代に演劇部だったことでお声掛けいただき、毎年出演してきましたが、今年もなんとか「表現者」としての役割を果たせたかと思います。



地域拠点の健康づくり政策が全国奨励賞！ ～県の新規事業で各地に取り組みが拡大中～



健康づくり・介護予防の「ヘルス・ステーション」の政策展開が全国で高く評価され、日本公衆衛生協会の「第49回衛生教育奨励賞」を受賞しました。古賀市の取り組みで、私が15年6月に福岡県議会の本会議で先進例として示し、16年度から県の新たな政策にもつながっています。このほど、担当する市予防健康課長の中村由果さんを訪ね、お祝いを申し上げ、あらためて現状を教えてくださいました。余談ですが、中村さんと私は25年前の夏、古賀の「第2回少年の船」にも参加した懐かしい思い出もあります。

ヘルス・ステーションは、住民が主体となり、地域（行政区）単位で公民館などに設置・運営される健康づくりと介護予防の拠点。子どもから高齢者まで参加できます。市は設置のために地域に補助する事業を展開し、骨密度計をはじめ健康測定機器の貸し出しや健康づくり推進員の方々の派遣などを実施。今年度、市内7地域が取り組み、他にも多くの地域が関心を寄せています。

私は現地視察などをもとに、県議会でも知事に対し、健康寿命延伸の具体策として提案。その結果、福岡県は16年度から新規事業として「地域における健康づくり活動支援事業」を開始しました。県健康増進課によると、既に9市町（糸島市、篠栗町、粕屋町、芦屋町、飯塚市、福智町、うきは市、八女市、みやこ町）で計20回実施されています。加えて、県主催の市町村向け発表会で、この取り組みに関わっている古賀市の保健師さんが説明し、広く周知を図る機会も設けられました。

地域主体の取り組みは、特定健診受診のきっかけづくり、地域包括ケアシステムの介護予防体制を構築するうえでも大きな意義があります。健康づくりの推進は、住民の皆さんの主体性と自発性、積極性が不可欠ですが、ヘルス・ステーションの取り組みは健康測定機器による自分の身体状態の「見える」化などによってこれらを引き出す効果があるようです。超高齢社会の中で医療・介護費の抑制を図り、「国家を未来の子どもたちに持続可能な形でつないでいくうえで期待の大きい取り組みです。「住民の皆さんの意識向上に効果がある」との声が届いており、さらにサポートを強化し、広げていきたいと思っています。

<田辺かずきプロフィール>

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
(高51回、現在は同窓会顧問)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 【所属】 福岡県議会・広域行政推進対策調査特別委員会副委員長
同・農林水産委員会、議会運営委員会
同・タイ友好議員連盟事務局長
同・スポーツ議員連盟幹事
民進党【衆議院】福岡県第4区総支部幹事長
民進党全国青年委員会事務局局長
- 【家族】 会社員の妻、9歳の長男、6歳の長女



各地のもちつきを駆ける！

